

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	子ども食堂晴れるや			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西学院大学		
	活動 グループ名	国内ボランティアサークルつなぐ	参加学生 等人数	20 人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	総合政策学部 総合政策学科		
	責任者氏名	村瀬義史	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	子ども食堂晴れるや		
	代表者氏名	西ユミ子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	尼崎地域における貧困や孤食問題から子どもたちの食についての状況を改善することに加えて、学習支援のサポートを行うことで子どもたちの居場所づくりを目的とする。			
活動内容及び 実績、評価	○活動内容 今年度の活動は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により思うように活動ができないことがあった。7 月、8 月、10 月、11 月、12 月、1 月、3 月の木曜日 15 時～19 時に武庫之荘を拠点に活動している NPO 団体「晴れるや」と協働し子ども食堂を開催した。各回の参加人数は変動したが、子どもたちの参加人数は 10 人程度であり、学生は 2～3 人が参加した。4 時間という短い時間ではあるが、学生が参加し子どもたちと接することによって、子どもたちの笑顔が増え、会話の幅も広まった。また、学習のサポートも実施し、家庭で過ごす時間が有意義なものになるように取り組んだ。このような取り組みにおいて、子どもたちにあたたかい居場所を提供することができたと考える。開催にあたっては、NPO 団体「晴れるや」と代表者をはじめ、地域の方々からも支援を受けることができた。 参加するごとに協力して下さる方々や他の参加者との交流を通して、我々が提示している目標とそれに対する地域が抱えている現状を理解し、問題への関心をより一層深めることができた。また、コロナ禍でも自分たちが地域に対して出来ることを考え、食堂運営にも主体的に取り組むことができた。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止が多発した地域のお祭りを子ども食堂で縁日として開催した際は参加者と学生が一緒に楽しむことができ、学生と地域の大人や子どもたちが一体となってつながりを深めることができた。 2022 年 3 月 24 日にはパネルでの年度末報告会を行った。代表者に協力してもらい、つなぐと晴れるやでどのような活動を日々行ったのかをまとめ、掲示した。訪問される方々に活動内容をより一層知っていただく機会につながった。そして、今後もこのような活動の輪を広めていき、子どもたちや地域の方にとってあたたかい居場所を提供していくことを目指したい。			

○市民活動団体「晴れるや」より

今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長引き、やっとまん延防止措置が解除され、長引くコロナ禍で、子ども達の心身がどれだけ影響を受けたか計り知れません。今は、元気に見えていても、継続的な見守りと言ったサポートが必要です。なかなか思うように活動ができない中、夏休みのサマースクールの夏まつりで見せてくれた学生みんなのチームワークは、本当に凄かったです。まん延防止措置が出るため、前倒しで行い、ぶっつけ本番となりましたが、参加された保護者からは「素晴らしい対応ですね。楽しかったです。」とコメントを頂き、参加した子どもたちも「楽しかった、もったいなかった。」と喜んでいました。多くのイベントが中止になる中で、子どもたちの心に思い出として残りました。

○指導教員より

他の参加者との交流を通し、学生が提示している目標とそれに対する地域が抱えている現状を理解し、問題の解決に取り組めていたと感じる。また、コロナ禍でも自分たちが出来ることを考え取り組んでいたと感じる。今後もこのような活動が継続して行われてほしい。



※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。